

令和6年度第2回全校集会校長講話

令和6年9月2日（月）

おはようございます。校長の鴨志田新一です。41日間の夏休みが終わり、今日から学校が再開します。この夏は、今もそうですが、記録的な猛暑でした。

また、台風やゲリラ豪雨など局地的な大雨にも見舞われました。9月以降も暑い日が続きます。水分をしっかりと取り、体調管理には留意してください。

昨日の9月1日は防災の日でした。

1923年 大正12年の9月1日 土曜日 11時58分に関東地方に大地震が発生しました。いわゆる関東大震災です。

死者、行方不明者を併せて、約10万5千人に上るといことです。

丁度、お昼時ということもあり、各家庭で、お昼の準備で、火を使っており、大規模な火災が発生しました。建物の倒壊だけでなく、火災などによる被害で、多くの人亡くなったということです。

また、9月は台風などの災害も多いことから、1960年 昭和35年から9月1日を防災の日とし、地震や水害の被害などの災害の対する心構えを準備する日となりました。

日本では、2011年 平成23年の東日本大震災をはじめ、2016年 平成28年の熊本地震、2018年 平成30年の北海道胆振（いぶり）東部地震 など大きな地震が起きています。

また、今年の1月1日には、能登半島地震が、そして、夏休み中の8月8日には宮崎県で南海トラフトに関連する地震もありました。

このところ、関東地方でも震度5弱程度の地震が頻繁に発生しています。

いつ関東地方にも大きな地震が到来してもおかしくありません。

日頃から、地震などの災害への備えを怠らないようにしましょう。

今日はこの後、シェイクアウト訓練を行います。訓練ではありますが、自分事と捉えてください。

さて、夏休み中にあった出来事を一つ紹介します。

7月の終わりの出来事です。

本校のある生徒が部活動を終えて、バスで北浦和駅に行く途中に、他校の男子生徒が、バスの中で体調を悪くしたということでした。

北浦和駅に着いてから、乗り合わせていた本校の生徒と女性の方がバスの停留所で、その生徒を介抱しました。

クーラーのある涼しい場所に移動したり、励ましの言葉かけをしたりして、その生徒の

親御さんが迎えに来るまで、一緒にいてくれたということです。

後日、一緒に介抱した女性から、学校に電話があり、このことがわかりました。

女性の方は、本校の生徒の対応に、とても感心し、お褒めの言葉をいただきました。

生徒は、名前を名乗りませんでした。女性との話の中の部活動や学年などから、該当する生徒を特定できました。

校長室にその生徒を呼んで、私からも感謝の言葉をかけました。

その生徒の凄いところは、咄嗟に行動に移す勇気も凄いですが、それ以上に、自分は「当たり前のことを当たり前にしただけです」というところです。

別に自分が、褒められることをしたという思いではないのです。

私が、普段の校長講話で「凡事徹底」、「当たり前のことを当たり前にする」と言っていますが、まさにその生徒にとっては、今回の行動は「凡事徹底」なのかもしれません。

常盤高校の校長として、誇らしい気持ちです。ありがとう。

週末には文化祭が開催されます。

今年は、何年かぶりに保護者だけでなく、中学生も来校されます。

是非、おもてなしの心と行動、そして当たり前のことを当たり前にする「凡事徹底」を実践してください。

毎回、全校集会で私が話した原稿は、学校のホームページの「校長室より」に掲載しています。もし、気になったら覗いてください。

私からは以上です。